

2018/19 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

第 2648 回例会 2019 年 3 月 6 日 (水) SAA/ 宮武会員 会報担当 / 松浦会員

事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 懐石料理 淡粋

- 点 鐘 長田会長
- ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト
- お客様 公益財団法人 市原市体育協会
副理事長 常澄 忠男様
事務局長 斎藤 雅宏様
- 会長挨拶

※卓話資料は次ページより掲載

◆◆◆◆◆ニコニコ・ソーリー◆◆◆◆◆

市原市体育協会様 第 13 回更級旗中学生剣道大会のご支援、ご協力ありがとうございました。盛大に大会を終了することができました。

福原会員 昨日は、委員会を開催し 3 月 24 日～ 26 日スキー教室の協賛金を参加者皆様より頂き、ありがとうございました。

斎藤会員 先日は、母の葬儀に、ご多用中のところ、長田会長および多くの皆様にご会葬賜り、ご丁寧なご厚志を賜りまして喪主の父とともに厚く御礼申し上げます。

長田会長・箕輪幹事 更級旗剣道大会の無事成功お疲れさまでした。榎原会員、ためになる卓話をありがとうございました。

■誕生祝 赤星、角谷、西村 (芳)、福原 会員

■結婚祝 小池、白鳥、長田、小泉会員

■出席報告 前々回確定 52.17% 本日出席 27 名
欠席 25 名 本日出席率 58.69%

■点 鐘 長田会長



お客様あいさつ



公益財団法人 市原市体育協会

副理事長 常澄 忠男様

事務局長 斎藤 雅宏様



本日のメインプログラム

新入会員卓話 榎原会員



ちばぎん

第13次 中期経営計画
ベストバンク2020
Final Stage - 価値共創の3年

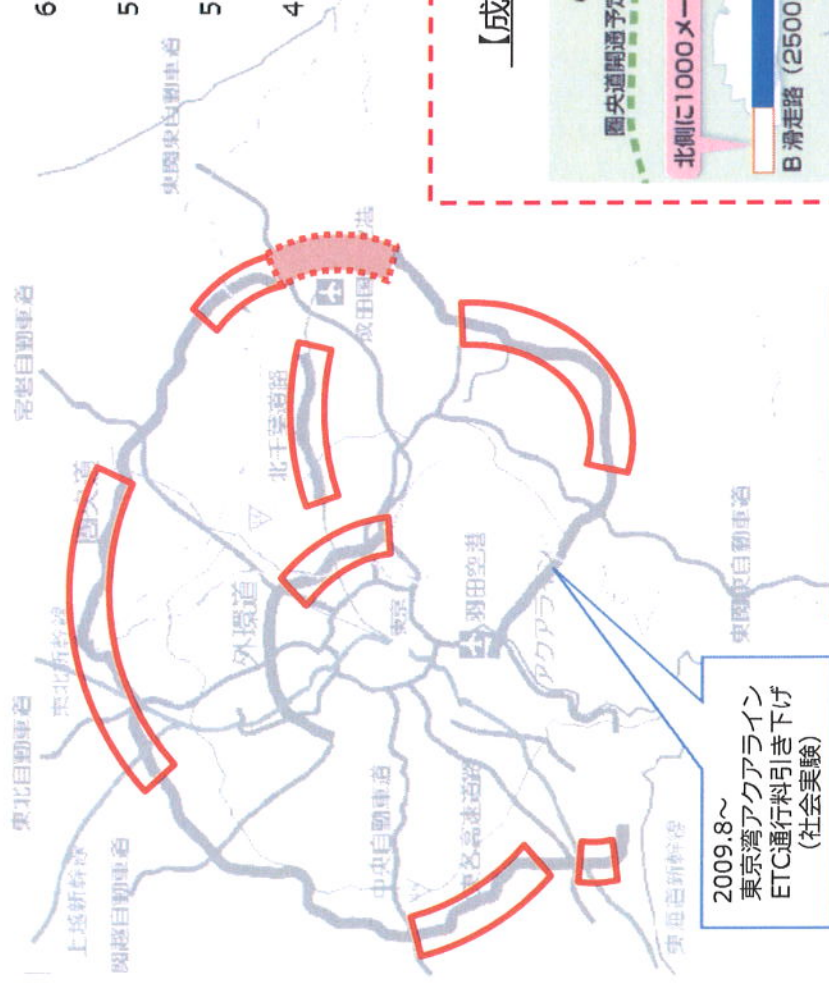
地方創生と地元金融機関の果たす役割 ～千葉銀行の取り組み～

2019年2月
株式会社 千葉銀行

■ 千葉県のポテンシャル

第12次中期経営計画
ベストバンク2020
価値創造の3年

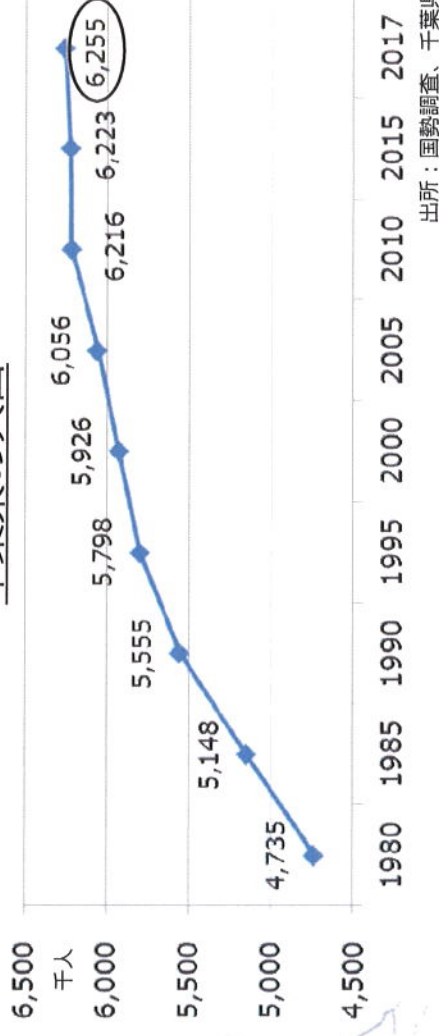
交通インフラ網の整備状況



2010年～2018年整備区間

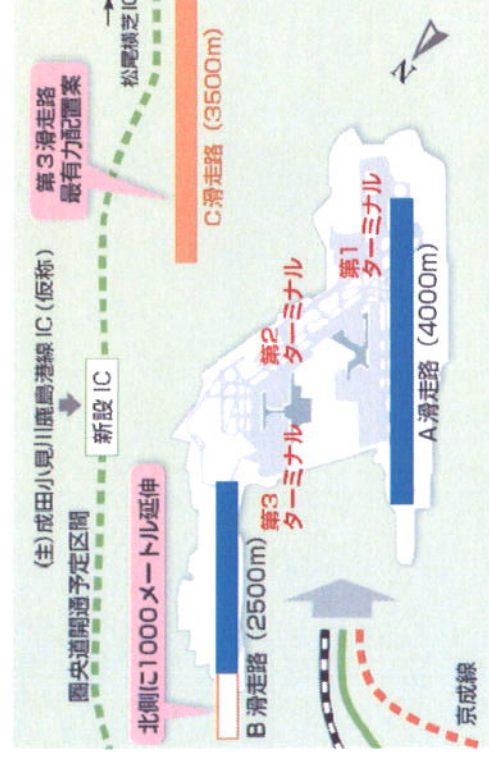
2024年度開通予定

千葉県の人口



成田地区の開発動向

【成田空港第3滑走路配置案】



出所：ちばぎん総研マネジメントスクエア2018年6月号

【国際医療福祉大学】

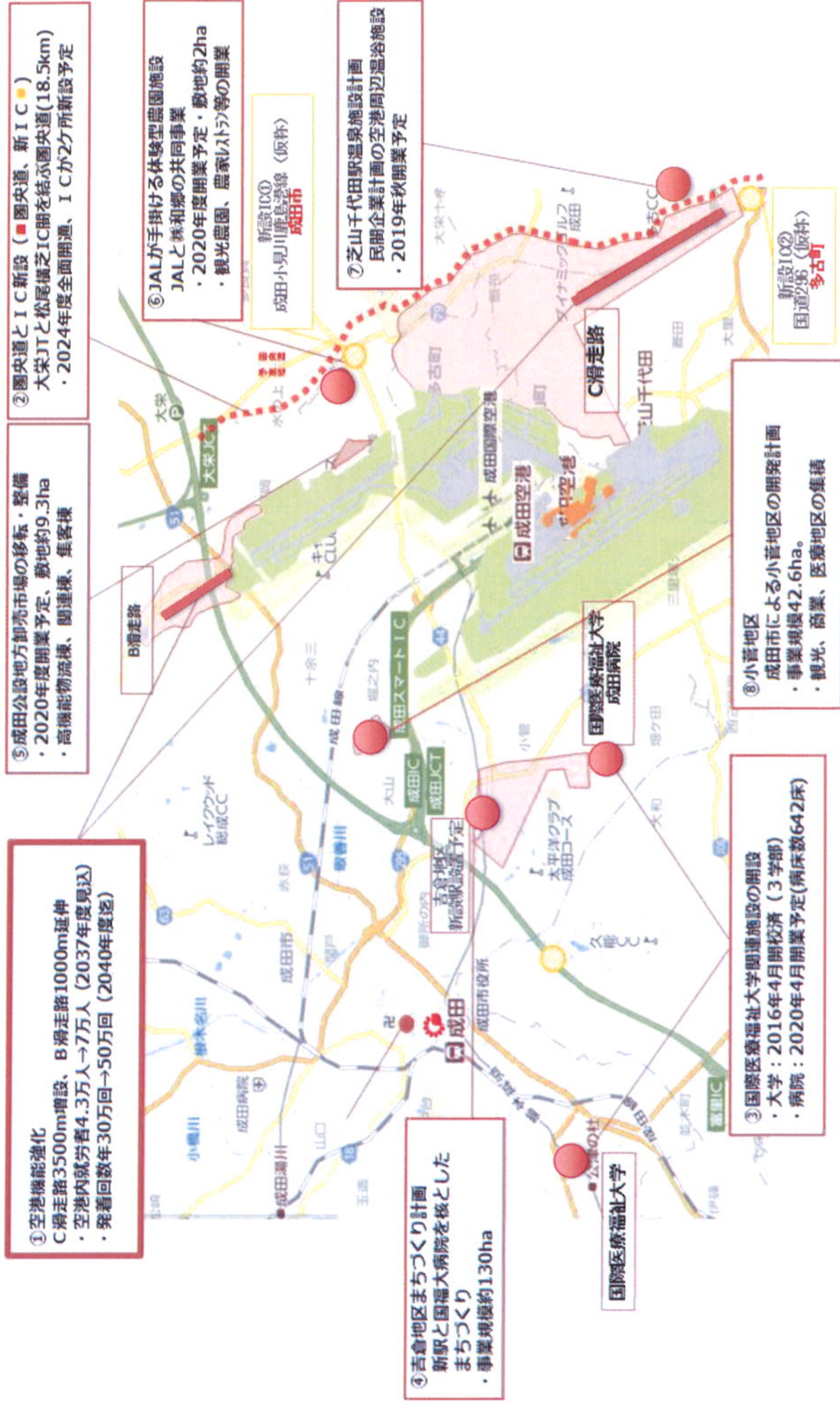
- 2016/4 看護学部・保険医療学部開校
- 2017/4 医学部開校
- 2018/4 医学部Ⅱ棟使用開始
- 2020/4 大学病院開業予定

※経済効果は**1,679億円**
(ちばぎん総研推計)



◆成田地区の開発動向について

第13次 中期経営計画
ベストバンク2020



◆ 銚子スポーツタウンの取り組み

運営事業体

株式会社 銚子スポーツタウン (2017.1設立)

資本金500万円： 銚子市：250万円・NPO法人 銚子スポーツコミュニティ役員12名：250万円

合宿施設運営・ブランディングに関する方向性協議・支援

銚子スポーツタウン協議会 (2016.6設立)

銚子市、銚子スポーツコミュニティ、銚子商工会議所、銚子市観光協会、
銚子市体育協会、千葉科学大学、千葉銀行、銚子信金、銚子商工、木樽アトバイザー

支援体制

●ブランド・プロモーション支援

日本スポーツツーリズム
推進機構(JSTA)

事業支援

★スポーツイベント実施
NPO法人
銚子スポーツコミュニティ

★運営ノウハウ提供・連携

R.project
犬吠埼ホテル
ルーツ・スポーツ・ジャパン

金融支援・事業化支援

ちばぎん

千葉銀行

銚子信用金庫
銚子商工信組

地方創生融資制度
広域ちば地域活性化ファンド
事業化支援
クラウドファンディング

ちばぎん総研

地域経済活性化支援機構

広域ちば地域活性化ファンド
事業・資金計画等フォロー

公的支援

銚子市アトバイザー
木樽正明 氏

銚子市

銚子商工会議所
銚子市観光協会
銚子市体育協会
千葉科学大学

・公共施設の無償
貸与・譲渡
・交付金の活用検討
・国・県との連携模案
・地域住民との連携

校舎・グラウンド活用図

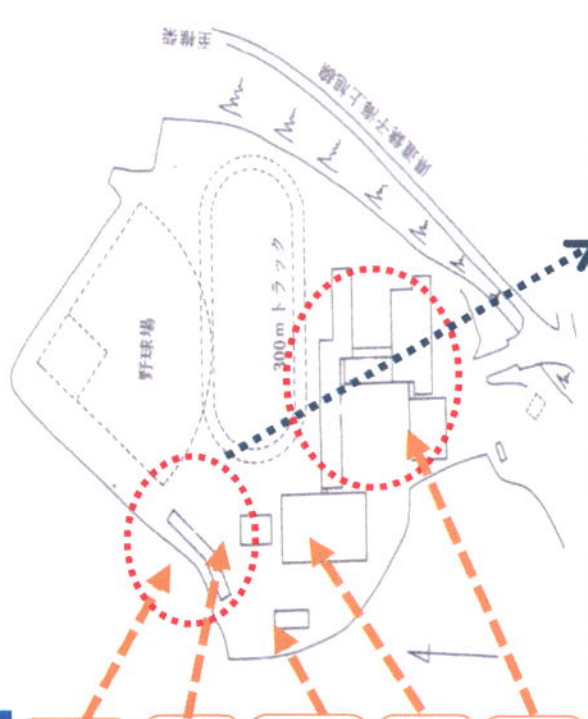
旧部室棟
宿泊棟へ改修
(19室 定員152名)

旧・合宿所
食堂・浴室棟を新設

旧・トレーニング室
内装・備品の整備し
トレーニングルームとして活用

旧・体育館
交付金を活用し改修

旧・校舎部分
取り壊しグラウンド増設



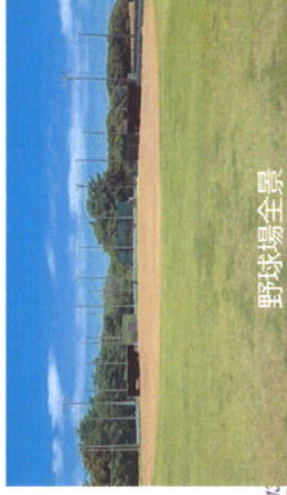
メインアリーナ (体育館3階)



雨天室内練習場 (体育館1階)



食堂・浴室棟



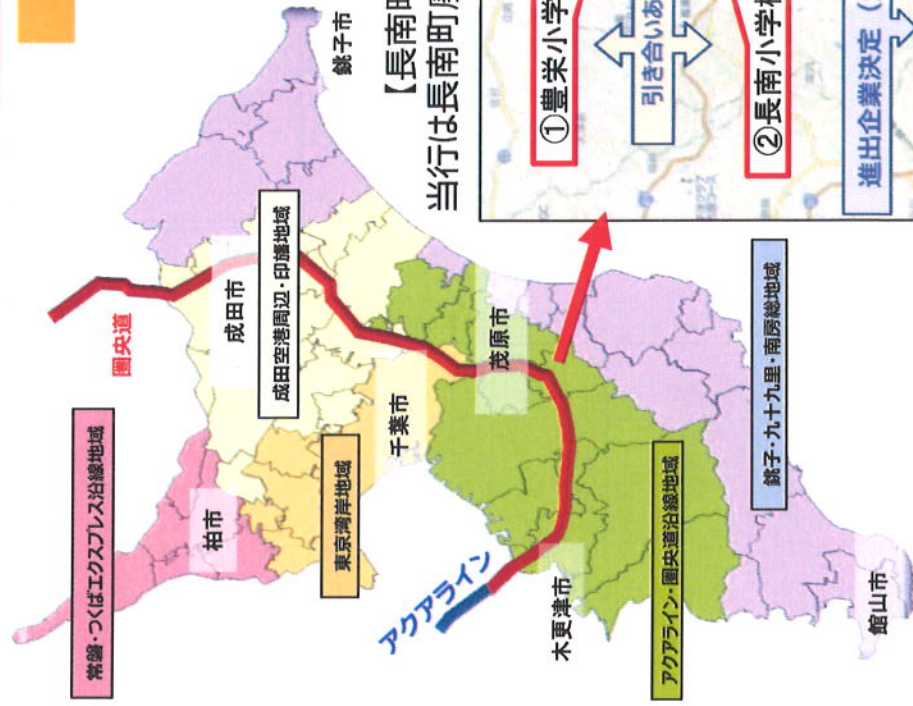
野球場全景

◆空き公共施設活用支援 長南町小学校跡地活用

第13次 中期経営計画
ベストバンク 2020
Final Stage - 価値共創の3年

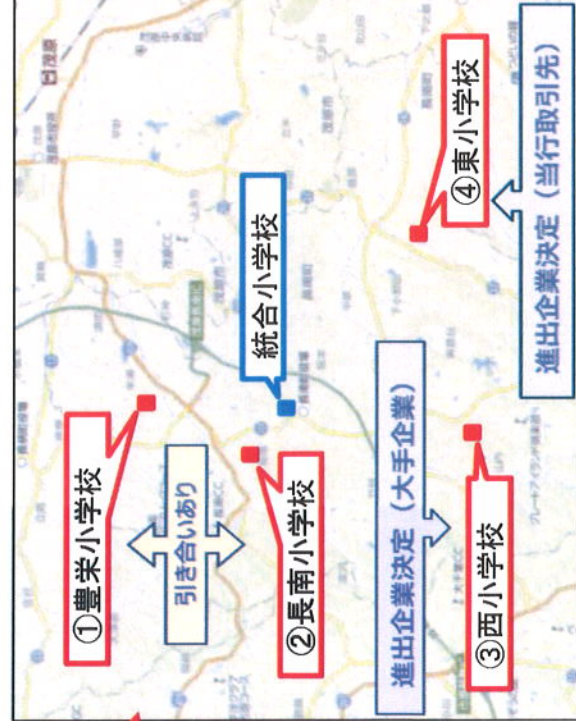
- 県内を5地域に分けて定量・定性面から強み・弱みを分析
- 各自治体に提言することで、協働関係を構築

- 各地域の特性に応じ、地域課題の解決に積極的に関与
- 銀行・グループ一体で、情報収集力・ネットワークを活用

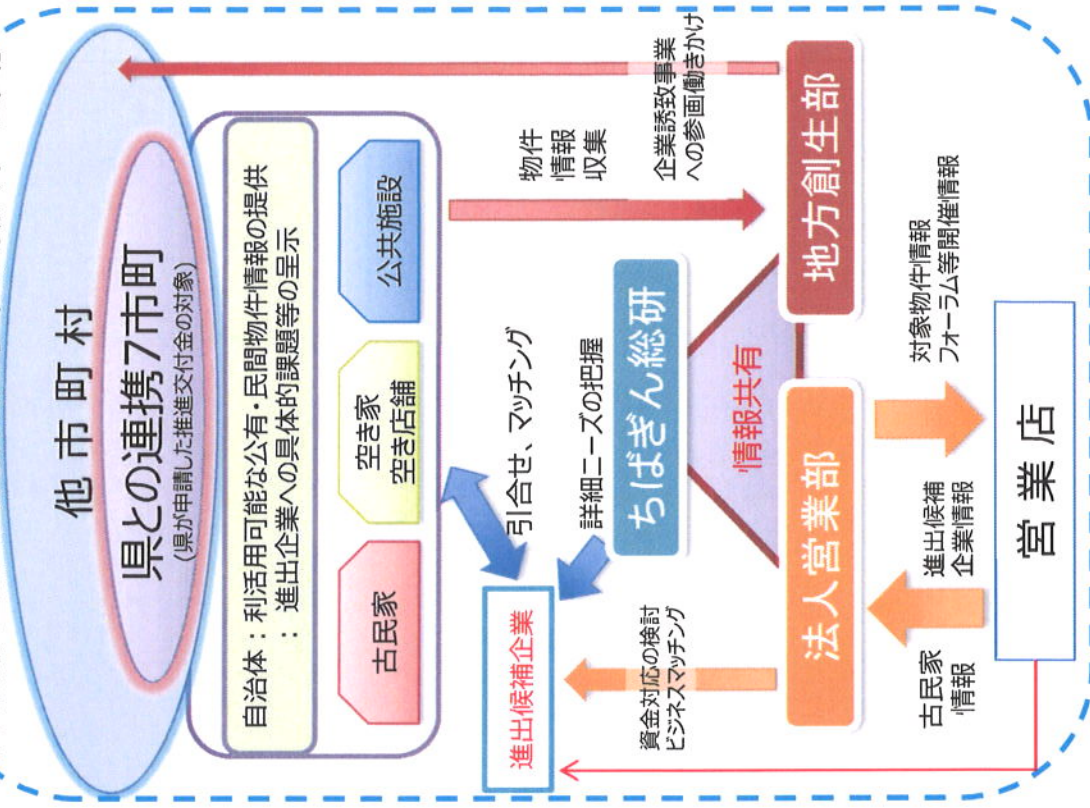


千葉銀行

【長南町小学校跡地活用の事例】
当行は長南町廃校跡地活用委員会に委員を派遣



【千葉県 空き公共施設活用事業 活動スキーム図】



第13次 中期経営計画 ベストバンク 2020

Final Stage - 価値共創の3年

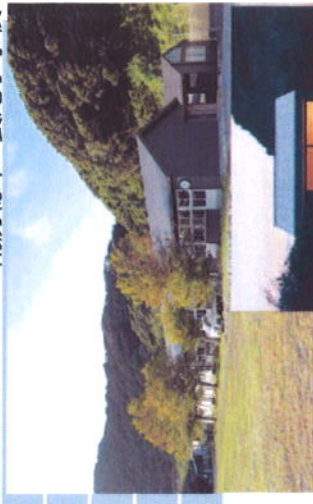
千葉県空き公共施設等を活用した企業進出支援事業

第13次 中期経営計画
ベストバンク 2020
Final Stage - 価値共創の3年

○千葉県空き公共施設等を活用した企業進出支援事業実績

進出時期	自治体	施設名	企業名	利用方法
2016年度	南房総市	長尾小学校	(合)WOULD	宿泊、コワーキング施設 (2社誘致)
	栄町	酒直小学校	KAORI	エクササイズスタジオ
	勝浦市	青海小学校	㈱パクチャー	WEBデザイン制作、コワーキング施設(2018年に1社誘致)
	いすみ市	サンライズガーデン	㈱Ponnuf	WEBデザイン制作
		岬学校給食センター	コスモ食品(株)	食品・調味料等の製造・加工
2017年度	長南町	東小学校	㈱クラフティ	OA機器の修理、貸スタジオ
		西小学校	㈱マイナビ	合宿・研修施設
	大多喜町	老川小学校	㈱良品計画	コワーキング施設、等
	南房総市	丸小学校・幼稚園	グロリア(株)	制服等製造
	睦沢町	瑞沢小学校	R.project(株)	合宿施設
2018年度	鴨川市	大山小学校	㈱良品計画	サテライトオフィス

南房総市 長尾小学校



長南町 東小学校



長南町 西小学校



大多喜町 老川小学校



第13次 中期経営計画 ベストバンク2020

Final Stage - 価値共創の3年

第13次 中期経営計画
ベストバンク2020
Final Stage - 価値共創の3年



◆地方創生関連商品

第13次 中期経営計画
ベストバンク 2020
Final Stage - 価値共創の3年

地方創生私募債(愛称:みらいはぐくみ債)

商品内容

私募債の発行企業様からいただく引受手数料の一部で、教育関連の物品を購入し、発行企業様の指定する学校に寄贈しています。

お取引先
(私募債発行)

※寄贈対象 学校教育法上の学校
幼稚園、小学校、中学校、高等学校
中等教育学校、特別支援学校
大学、高等専門学校

②引受
手数料

①私募債の
発行・引受

寄贈先の指定

③教育関連物品の寄贈
(発行額の0.2%程度)



学校

地方創生私募債「みらいはぐくみ債」寄贈品の贈呈式

●寄贈品例

楽器・臼、杵・文学書・ボール・手引きリアカー・運動マット・
集会用デント・タブレット・バスケットゴール等



スポーツ応援私募債(愛称:ちばスポーツ債)もスタート(対象:自治体・スポーツ団体)

第13次 中期経営計画 ベストバンク 2020

Final Stage - 価値共創の3年

◆観光用レンタサイクルの寄贈

第13次 中期経営計画
ベストバンク 2020
Final Stage - 価値共創の3年

第1回 南房総地域観光連携



館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町

65台

第3回 九十九里・外房地域観光連携



勝浦市・山武市・いすみ市・大網白里市・
九十九里町・横芝光町・一宮町・長生村・
白子町・大多喜町・御宿町

94台

第2回 北総地域観光連携



銚子市・香取市・成田市・佐倉市
東庄町・神崎町・酒々井町

76台

第4回 九十九里・北総地域観光連携



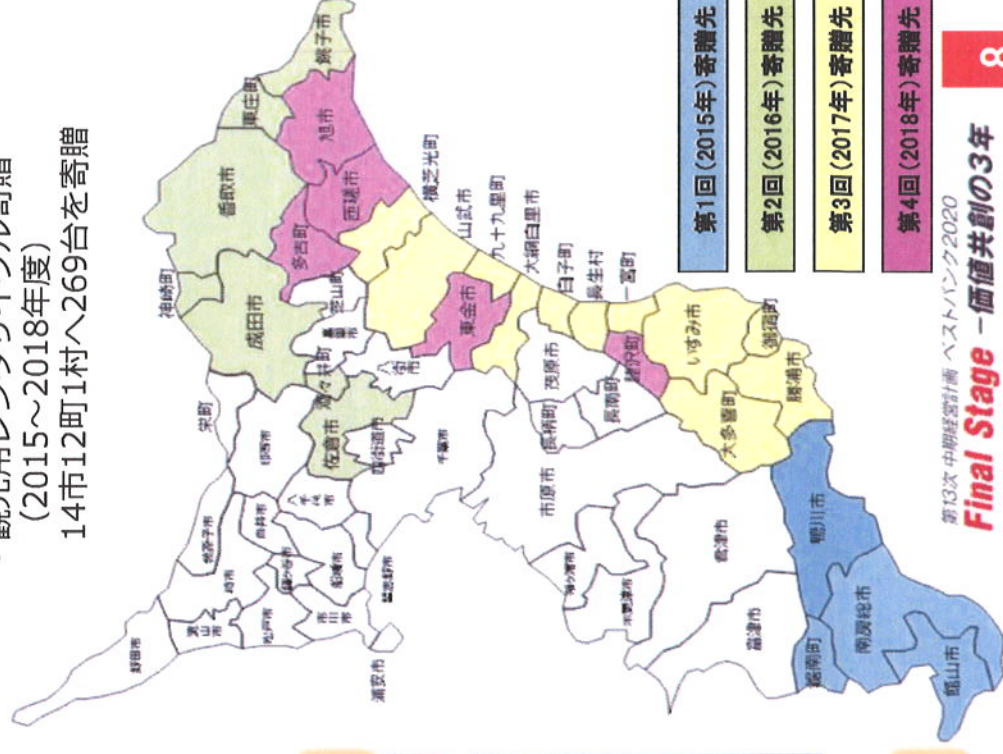
旭市・匝瑳市・多古町・東金市・睦沢町

34台

【目的】

千葉県の観光振興と自治体間の
広域連携促進を図り、県内広域
に亘るサイクルツーリズムを促進。

- ・観光用レンタサイクル寄贈
(2015～2018年度)
14市12町1村へ269台を寄贈



第1回(2015年)寄贈先

第2回(2016年)寄贈先

第3回(2017年)寄贈先

第4回(2018年)寄贈先

第13次 中期経営計画 ベストバンク 2020

Final Stage - 価値共創の3年

ご清聴ありがとうございました。

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉県千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111(代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>



改めまして、皆様こんにちは。

昨年7月よりお世話になっております千葉銀行姉崎支店の楢原です。
今回、このような新入会員卓話の機会を頂きまして、ありがとうございます。
先輩方を前にお話しできることなど何もありませんが、
お時間を頂きましたので、千葉銀行の地方創生に対する取り組みについて資料を見ていただきながらお話ししたいと思います。人前でお話することはとても苦手なものですから、お聞き苦しいところも多々あるかと思いますが、気軽に聞き流していただければと思います。宜しくお願いします。

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は1970年(昭和45年)7月に東京都文京区でサラリーマン家庭に生まれました。兄弟は2つ上の兄が一人です。

すぐに千葉県船橋市、佐倉市と引越し、結婚してからは千葉県八千代市に住んでおります。今年の7月で49歳、妻と子供2人の4人家族で暮らしております。

1993年(平成5年)に千葉銀行に入りまして、各支店を異動し、姉崎支店が11ヶ店目、支店長としては3ヶ店目でございます。

それでは地方創生と千葉銀行の取組みについてご紹介させていただきます。

「地方創生」が始まった背景には、「人口減少問題」が有ります。

鎌倉幕府が成立した 1192 年、今から 827 年前、日本の人口はまだ 757 万人でした。現在の千葉県人口 625 万人、埼玉県 726 万人より少し多い程度です。その後、江戸時代は 3,000 万人程度で均衡しておりました。明治時代から「産めよ増やせよ」という国策もあり、急激に人口が増え始め、わずか 150 年程度で急激に増加し、2008 年(平成 20 年)に 1 億 2,800 万人となりピークを迎えました

この人口が 100 年かけて同じようなペースで今度は減り続けるといわれております。2100 年には 6000 万人を割ると言われています。

要するに人口が半減して明治時代の人口と同じになるわけですが

そのときの年齢構成は明治時代とは全く違う状況になっていることが予想されます。今後、仮に出生率が改善したとしても、早期にその効果は期待できず、人口減少と少子高齢化社会の到来は避けられないものとなります。

これは経済力の低下にも繋がりますが、国は 2050 年には人口 1 億人を確保し、現状程度の GDP を維持していくことを目標としています。

その為のカギのひとつが地方創生と考えられております。

近年盛んに聞くようになった女性活躍推進や働き方改革なども、一つ一つ別々の施策ではなく、地方創生に向けて、働き手・担い手の減少を食い止め、地域の活力を維持向上させるという共通の取り組みとなっております。

千葉県についてですが、

千葉県の人口はこの 100 年程度で 4 倍に激増しました。

千葉県は農業と水産業を中心とした産業構造でしたが、昭和 28 年に川崎製鉄が千葉市に進出したのを皮切りに、京葉工業地帯の形成が進み、昭和 30 年代に入ると、浦安から富津にいたる湾岸地域で 3400 万坪もの埋め立てが行われました。昭和 40 年代になると、高度経済成長の本格化に伴い、地方から首都圏への人口流入が加速し、千葉県は東京へのベッドタウンとして急速に宅地開発や交通網の整備が進み、人口も大きく増加しました。昭和 43 年から 58 年の 15 年間では 200 万人も増加しております。その後、徐々に増加ペースは緩やかになり、千葉県の人口は現在約 625 万人でまだ少しずつ増加しておりますが、地域別では状況が異なっております。

千葉県の全 54 市町村のなかで、39 の市町村では人口が減少に転じ

ております。それどころか、26 の市町村では消滅可能都市に認定されている状況です。消滅可能都市とは、2040 年までに 20 歳から 39 歳までの女性の人口が 50%以上減少すると考えられている地域とされています。国の地方創生への取り組みにおいて、千葉県は「東京圏」に位置付けられておりまして、いわば「ひとの出し手」労働力を提供する地域としておりますが、実際には強い危機感を抱く状況になりつつあると言えます。

資料の 1 ページ目をご参照ください。

千葉県内では、既に開通している外環道がイカンドウの市川－三郷区間や圏央道など、交通インフラの整備が進んでおり、それに伴い物流施設の建設も増加しています。また、今後もさまざまな開発や案件が控えており、地域が活性化するポテンシャルの非常に高いエリアです。ビジネスチャンスもたくさん生まれる地域ともいえます。

成田国際空港の滑走路の延伸をはじめ、成田市での国際医療福祉大学付属病院の開設、圏央道や外環道のまだ開通していない区間の整備の進展、東京オリンピック・パラリンピック開催に係る経済効果などにより、地域経済の一層の活性化が見込まれます。

千葉県の人口は 2020 年頃まで増加が続くと予想されていますが、い

ずれは減少に転じていくことが予想されますので、地域経済の成長に向けた取組みを今まで以上に進めていく必要があると考えております。

2 ページ目をご覧ください。

県内でも特に注目される地域である、成田地区についてご紹介いたします。

来年 2020 年は、東京オリンピックが開催されますが、益々、成田空港の空港需要が高まってきております。政府は、東京オリンピック後も増加が予測される空港需要に対応して、空港機能の強化方針を打ち出しております。

その中で、成田地区では、開発マップのとおり、空港周辺の大型開発が進んでおります。

当行では、著しい発展が期待される成田地区に本部専門人員（成田プロジェクト推進室）を配置し、開発動向の情報収集と情報発信をするとともに、建設や不動産に関わるご支援に加えまして、お客様への資金調達のご支援もさせていただいております。

成田地区の主な開発動向としまして、3 つが挙げられます。

成田空港の機能強化として、C 滑走路 3500m 新設、B 滑走路 1000m 延

伸

圏央道と IC 新設（大栄 JT～松尾横芝 IC を結ぶ 18.5 km／2024 年開通予定）

国際医療福祉大学関連施設の開設（大学：2016 年開校済、病院 2020 年開業）です。

圏央道の全面開通によりまして、アクアラインを利用することで、成田空港と羽田空港が高速道路で繋がり、交通インフラが格段に強化されるとともに、成田空港の機能強化による輸出入貨物の増加、インバウンド客の増加も加わり、成田空港周辺では、物流施設や工場や集客施設などを新たに設けたいというニーズが高まっております。

また、国際医療福祉大学が開校し（生徒数約 900 人）、更に 2020 年には国際医療福祉大学病院が開業予定（病床数約 642 床）である他、空港機能強化に伴い、空港内就労者も大幅に増加（4.3 万人⇒7 万人）する見通しで、空港周辺地域では、就労人口の増加により、賃貸住宅を含む住宅ニーズが益々高まることが予測されます。

また、病院周辺の④吉倉地区では、新駅と大学病院を核とした大規模な「まちづくり」も計画されています。

そのほか、⑤食の輸出とインバウンドをキーワードとした卸売市場の移転（成田市街⇒空港隣地へ）（検疫・通関機能を持った高機能物流棟、観光客が楽しめる物販・飲食等の集客棟を設ける）

⑥ J A L が手掛ける体験型農園施設

⑦ 空港隣接地の温泉施設

⑧ 成田 I C 付近の小菅地区にも、観光、商業、医療を中心とした「まちづくり」などが計画されています。

成田地区への「工場、倉庫、店舗、事業所などの新設」や「賃貸物件の購入」などに、ご関心がございましたら、是非、千葉銀行にご相談願います。

3 ページをご覧ください。

当行の地方創生の取り組みとして、空き公共施設を活用した企業誘致・新規事業の創設があります。

代表的な事例として「銚子スポーツタウン」についてご紹介します。

銚子市は、昭和 40 年をピークとして人口は減少、財政状態も大変厳しい状況にあります。

人口減少による地域の衰退を克服するため、2008 年に廃校となった銚子市立銚子西高校をスポーツ合宿施設「銚子スポーツタウン」と

して再生し、スポーツによる地域活性化の中核として、観光産業の活性化を図り、交流人口の増加、雇用の創出、財政負担軽減等の成果が上がり始めています。

地元有志のNPO法人が中心となり、当行も支援する中、事業全体を銚子市に提案し、これをもとに、銚子スポーツタウン協議会を立ち上げて検討しました。

事業主体として、銚子市、NPO法人が出資し、株式会社銚子スポーツタウンを立ち上げました。金融支援には当行のほかに、地元金融機関も加わり、その他、施設運営には銚子市出身のプロ野球選手や銚子商工会議所、観光協会等の地元団体が協力、ノウハウの提供としてホテルなどの民間事業者にも協力を得ています。このような、さまざまな事業者や団体をこの事業とマッチングし、コーディネートする機能を当行は果たしています。

銚子スポーツタウンは3年間の準備期間を経て、昨年4月にオープンしました。宿泊者数は12月までに約6700泊と、今年度の目標の85%をすでに達成しており、新たな雇用も10数名生まれています。

次に4ページを参照願います。

もう一つ、空き公共施設の活用として、長南町の廃校活用について

をご紹介します。

長南町は 4 つの小学校を一度に廃校し、統合小学校を設置することを決定し、小学校跡地活用検討委員会を発足させました。

当行もこれに参画し、(株)ちばぎん総合研究所が受託した千葉県の空き公共施設活用事業との連携を図り、2社の企業誘致に成功しています。

これにより、移住者が現れ、長南町への交流人口も増加、新たな雇用も生まれております。ポイントになるのは、千葉県が、県内郡部を中心に増加している学校等の空き公共施設を活用した企業誘致事業を平成 28 年度から開始しており、この事業を(株)ちばぎん総合研究所が受託したことです。

平成 29 年に、東小学校に、1社の企業誘致(当行取引先)に成功しました。この会社はOA機器のリファインニングセンターや、撮影スタジオ等に活用するほか、校庭は都内企業の社内運動会に貸し出ししています。

さらには、平成 30 年に、もう一つの西小学校に、地域活性化に積極的なマイナビが進出し、団体宿泊施設やカフェなど、地域に密着した活動を展開しています。

現在、長南町4小学校のうち2つの小学校に企業誘致が成功。3つめの小学校にも企業進出が決定し、最後の1校にも引き合いが複数来ている状況です。長南町は、圏央道インター「茂原長南」が近く、都心からもアクセスが良いため、企業にも注目される地域となっています。

この事案は、内閣府の「まち・ひと・しごと創生本部」が選定する2017年度の「特徴的な取組事例」に選出され、地方創生大臣賞を受賞しております。

5ページをご覧ください。

こちらは千葉銀行グループがお手伝いさせていただいた千葉県空き公共施設等を利用した企業の進出の事例の一部をお示ししてあります。空き公共施設の活用については、千葉県の施策として、廃校となった学校の活用を、ちばぎんグループ全体で支援する枠組みが出来上がりました。この事業は既に3年間継続して行われております。

主な地域は、圏央道の外側の、銚子、九十九里などの外房から南房総、館山にかけてで、もっとも人口の減少、高齢化の進んだ地域です。写真が出ておりますが、先ほどご説明した長南西小学校はこのように、畳の部屋やお風呂などが整備され、貸切の宿泊施設がオー

ブンした他、一部はカフェとして地域の住民に利用されています。

また、左の写真にあります南房総市のシラハマ校舎(旧長尾小学校)は、シェアオフィスやレストランとしてリノベーションされ、校庭には、無印良品の商品である「MUJI 小屋」が設置されております。

MUJI 小屋というのは、水周り設備のない「小屋」で、週末を南房総で過ごすためのプライベートスペースです。トイレやお風呂はシラハマ校舎を利用できるようになっております。

このように空き公共施設は、工夫次第で様々な用途に活用することが可能です。公共施設を利用する為、事前準備等に時間がかかる場合が多く有りますが、当行グループはすでにノウハウを蓄積しております。現在、空き公共施設の活用について、支店を通じお客様に紹介する活動も展開しております。もし、ご興味がおありの場合は、お気軽にお問い合わせください。

6 ページをご覧ください。

地域資源を使った観光まちづくりについても支援しています。

観光まちづくり会社、いわゆるDMC（Destination Management Company）と呼んでいますが、図にありますとおり、複数の主体が出資し、DMC組織を立ち上げ、明確なコンセプトに基づいた観光

地域づくりを実現するための戦略を策定し、その戦略を着実に実施し、自立自走する組織です。

このDMCの組成についても、私共はお手伝いしております。

観光による町づくりを目指す地域に対して、観光振興に関する事業者を巻き込み国の交付金を得て、観光振興事業を推進することで、地域に雇用を生み出し、観光客を誘致することができます。

地元企業をこの事業に巻き込む事で、地域企業の活性化にも繋がります。

私共は、このような多用な関係者をコーディネートし事業の成功と持続を支援して行く事が、地域に求められる役割ではないかと考えています。

観光事業といっても、下段の囲みにありますとおり、関係する事業の領域は多岐にわたり、多様なノウハウが必要となることから、私どものお取引先のビジネスチャンスにもつながる取り組みと考えております。

すでに、大多喜町ではDMCの設立に関与したほか、他の自治体にもご提案し、進んでいるところです。ご興味があれば、ご相談いただければと思います。

7 ページをご覧ください。

地方創生私募債」、愛称「みらいはぐくみ債」をご紹介します。
きます。

この商品は、お取引先が^株発行する私募債の引受手数料の一部で教育
関連の物品を購入し、お取引先が^株指定する学校や保育園・児童養護
施設等に寄贈する内容となっております。

今まで多くの経営者の皆様から、地域社会への貢献についての思い
をお聞かせいただいていたことから、当行がお取引先と^株共に地域の
将来を担う子供たちの育成支援に取り組んでいくという考えで、こ
の商品を作りました。

取扱い開始以来、大きな反響があり、昨年 9 月までに、合計 395 件、
385 億円の債券発行を受託し、寄贈総額も 7,700 万円を超えるなど、
お客様より大変好評をいただいております。また、昨年 7 月から、
同様の仕組みで、スポーツによる地域活性化を後押しする商品とし
て「スポーツ応援私募債」の取り扱いを新たに開始しております。
これは、私募債を発行したお取引先が、^株希望する自治体への寄付や、
スポーツ団体への物品の寄贈ができるものです。

この商品をとおして、日頃から、地域に貢献したいと考えておられ

るお取引先が^(株)いかに多いのか、ということがわかりました。

そのような、地域に貢献したいと考えているお取引先の^様思いを、具現化するお手伝いを今後も続けていきたいと考えております。

8 ページをご覧ください。

千葉県の誇る温暖な気候と豊かな自然という地域資源を観光振興に結び付けるきっかけとして、「観光用レンタサイクルの寄贈」を、継続して行っております。

2015 年より開始し、この地図に色のついている地域に対して、これまで累計で 27 市町村、269 台を寄贈しました。

このうち、約半数の自治体では、寄贈自転車を利用したレンタサイクル事業の立ち上げにつながっております。

さらに、隣接する地域同士で、サイクルツーリズムを通じた広域連携の動きも出始めております。

具体的には、南房総地域で、この「レンタサイクルの寄贈」と「南房総地域のサイクルツーリズム促進」を連携施策として、「レンタサイクルキャンペーン」や地域間の乗捨て等の共同運用、GPS を活用した利用動向調査による「周遊ルート作成」などの取組みが始まっております。

このように、当行のレンタサイクル寄贈事業は、自治体単位のレンタサイクル事業の立ち上げだけでなく、自治体間のサイクルツーリズム連携のきっかけにもなっております。

以上がちばぎんグループが行っている地方創生関連の業務となっております。何かご質問等がある場合には、すぐには応えられないと思いますので、後ほど、言っていただければと思います。

それではこの辺で、私のお話を終わりにさせていただきたいと思います。ご清聴有難うございました。